



鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの
岡山市立鹿田小学校



令和元年度 第16号 2月18日

人がつながる、心をつなげる

先日、鹿田小学校の歴代校長先生方や旧職員の先生方と会う機会がありました。中には30年以上前に鹿田小学校に勤務されていた方もいて、昔話に花が咲きました。校舎が新築され、運動場や中庭などが整備されました。今は、プールや校門の一部に昔の名残をとどめているだけですが、126年の歴史の中で、その時その時をこの鹿田小学校で日々がんばっていた、子どもたちや先生、保護者や地域の方々が、途切れることなく綿々につながり、今の鹿田小学校があるということがよく分かりました。あいさつ運動や6年生の朝掃除、公園清掃など様々な取り組みは、「こんな鹿田小学校にしたい。」「こんな鹿田っ子にしたい。」という気持ちから、もう何十年も前から始まっていて、それが今でも続いています。人がつながり、そしてその心を次へとつないでいく、今を過ごす私たちにも、そんな役目があるのだと改めて感じました。

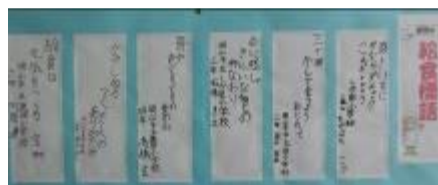


創立100周年記念写真

給食週間

1月20日～1月24日までを校内の給食週間とし、いろいろな取り組みを行いました。

給食に関する作品募集として、図画・ポスターと標語に全員で取り組みました。特に優秀な作品は、各学年1点ずつ、給食室前にも掲示されました。また、給食委員会が校内放送を使って、給食が作られる様子のビデオを流したり、給食に関するクイズをしたりしました。このような取り組みを通して、子どもたちが学校給食や食に関する興味や関心を深めていってほしいと願っています。



健康教育 ～学校薬剤師 柴田朋子先生～

1 薬物乱用防止教室 6年

最近テレビなどで、芸能人が薬物使用で逮捕される事件が報道されていることもあり、子どもたちは真剣に話を聞いていました。麻薬や大麻、危険ドラッグ、脱法ハーブなど危険な薬物はたくさんありますが、どの薬物も一度でも使用すると脳神経が破壊され、二度と元には戻らないそうです。私たちの行動はすべて脳が行っています。その脳が破壊され、元に戻らないということが、どれほど恐ろしいことか、柴田先生のお話でよく分かりました。授業の後半は、知り合いから薬物の使用を勧められたとき、どのように断るかということを考えました。一番よい方法は「逃げること」ですが、その前にそのような人や場所に近づかないことも大切です。

普段使っている風邪薬や頭痛薬なども、用法や用量を守らないと薬物乱用になるということも教えていただきました。正しい知識と正しい判断で、「自分の体は自分で守る人」であってほしいと思います。



2 禁煙教育 4年

たばこの害について教えていただきました。たばこには「タール」「ニコチン」などの有害な物質が含まれていること、タバコを吸う人だけでなく、その周りにいて煙を吸っている人の体にも、悪い影響があることなどを教えていただきました。お家の方がたばこを吸っている子どもからは、「どうしたらお家の方がたばこを吸うのをやめさせることができますか?」という質問がたくさん出ました。大好きなお家の方が、ガンなどの病気にならないようにと心配している気持ちが伝わってきました。



スマホ・ケータイ安全教室 5・6年

2/12にKDDIの方においでいただき、「スマホ・ケータイ安全教室」を行いました。今、子どもたちのスマートホンや携帯電話の所持率は増加の傾向にあり、そのほとんどがスマートホンだそうです。スマートホンや携帯電話はとても便利ですが、使い方を一つ間違えると、大きなトラブルを招くこともあります。その例として①親に内緒でゲームに課金し、高額な金額を請求された。②LINEに書かれた文字についての勘違いから、トラブルに発展した。③大人の男性が同学年の女の子になりすまし、個人情報聞き出した。という事例を挙げてお話をしてくださいました。どれもとても怖いことだと思います。今回は保護者の方も参加していただきましたが、人数が少なかったのが少し残念でした。



クラブ見学

2/10に3年生がクラブ見学をしました。これは、来年度4年生になってどのクラブに入るかを決めるための参考にするため、毎年この時期に行っているものです。鹿田小学校では、クラブをほぼ月1回のペースで実施しており、今年度は、屋外スポーツ、屋内スポーツ、茶道、科学、編み物など、全部で14のクラブがあります。

この日3年生はクラスごとに、活動場所を回って見学しました。来年入るクラブをもう決めている子どももいて、今から楽しみにしているようです。



学校長のつぶやき ～石拾い～

朝、運動場を歩いていると、運動場の西の端に大小合わせて200個ほどの数の石が落ちていました。誰かがどこかから持ってきて投げたのだと思います。業間休みにバケツを持って行き、石を拾っていると、3年生の男の子が近寄ってきて、「校長先生どうしたんですか。」と声をかけてくれました。石が落ちていたので拾っていることを伝えると、「手伝います。」「僕も手伝います。」と近くにいた子どもたちも4、5人集まってきてくれて、みんな石を拾いました。「遊んでいたのに悪かったね。手伝ってくれてありがとう。」と言うと、「鹿田小学校のみんなが気持ちよく生活ができるといいから」という答えが返ってきました。3年生ですよ！まだ3年生なのに、学校全体のこと、みんなのことを考えて行動することができるのです。感動です。本当に素晴らしい！今の世の中、「自分さえよければいい。」という考え方の人が増えてきているようで、とても心配していましたが、この子どもたちを見て、少し安心しました。そして、『これからも、保護者や地域の方と力を合わせて、自分のことと同じように人を大切にできる、そんな子どもたちを育てていかなければ！』という思いを強くしました。

